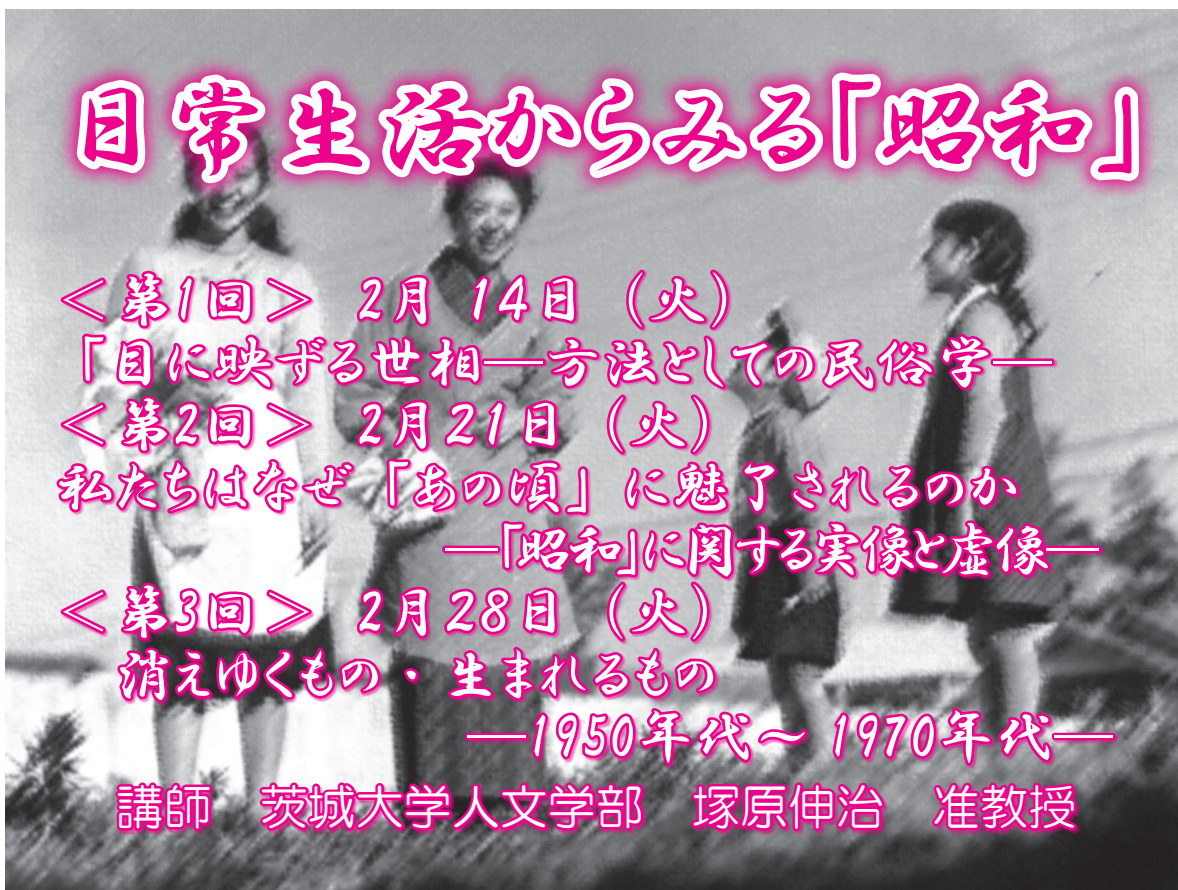


# 『市民大学講座』 受講生募集

常陸大宮市では、茨城大学との連携協定のもと、茨城大学の教員が「常陸大宮市」で市民向けの講座を毎年実施しています。今回の春講座は、『日常生活からみる「昭和」』と題し開講します。

今年の4月から放送されるNHK連続テレビ小説「ひよっこ」の撮影地となった県北地域。当時（1960年代）の生活はどのようなものだったのか、この時代の背景や意味など「ひよっこ」の時代と常陸大宮市域について、皆さんも一緒に勉強しませんか！



## 日常生活からみる「昭和」

<第1回> 2月14日（火）  
「目に映ずる世相—方法としての民俗学—」

<第2回> 2月21日（火）  
私たちはなぜ「あの頃」に魅了されるのか  
—「昭和」に関する実像と虚像—

<第3回> 2月28日（火）  
消えゆくもの・生まれるもの  
—1950年代～1970年代—

講師 茨城大学人文学部 塚原伸治 准教授

- 時 間 19:00～21:00（120分）※質疑応答含む
- 場 所 市文化センター2階会議室
- 定 員 40名（先着順）
- 受講料 1,500円（講座3回分）
- 申込方法 2月10日までに、受講料を添えて市民協働課にお申し込みください。

**申込・問** 市民協働課市民協働G(市役所1階) ☎52-1111（内線127）